

2017年3月期 第1四半期 決算説明会



TOYOTA C-HR

トヨタ自動車株式会社
2016年8月4日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場の変動(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場変動)および金利変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

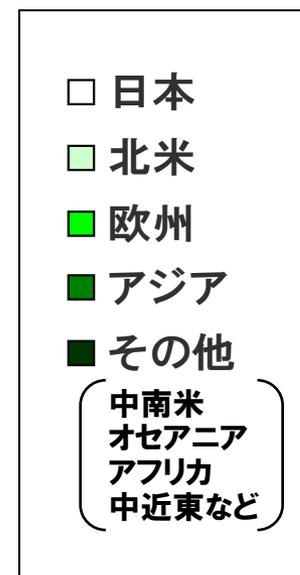
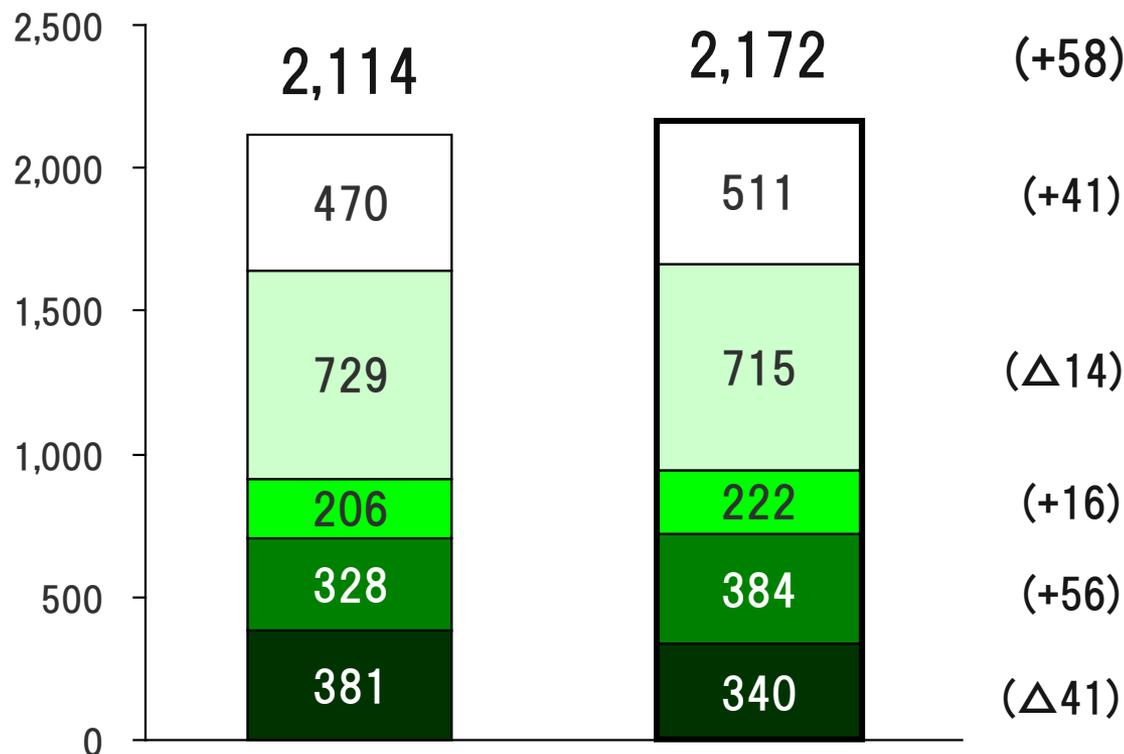
2017年3月期 第1四半期 決算説明会

2017年3月期 第1四半期 実績

2017年3月期 見通し

連結販売台数

(単位:千台)



	前年同期 ('15/4-'15/6)	当第1四半期 ('16/4-'16/6)	増減
グループ 総販売台数(小売)	2,502	2,529	+27

連結決算要約

(単位:億円)

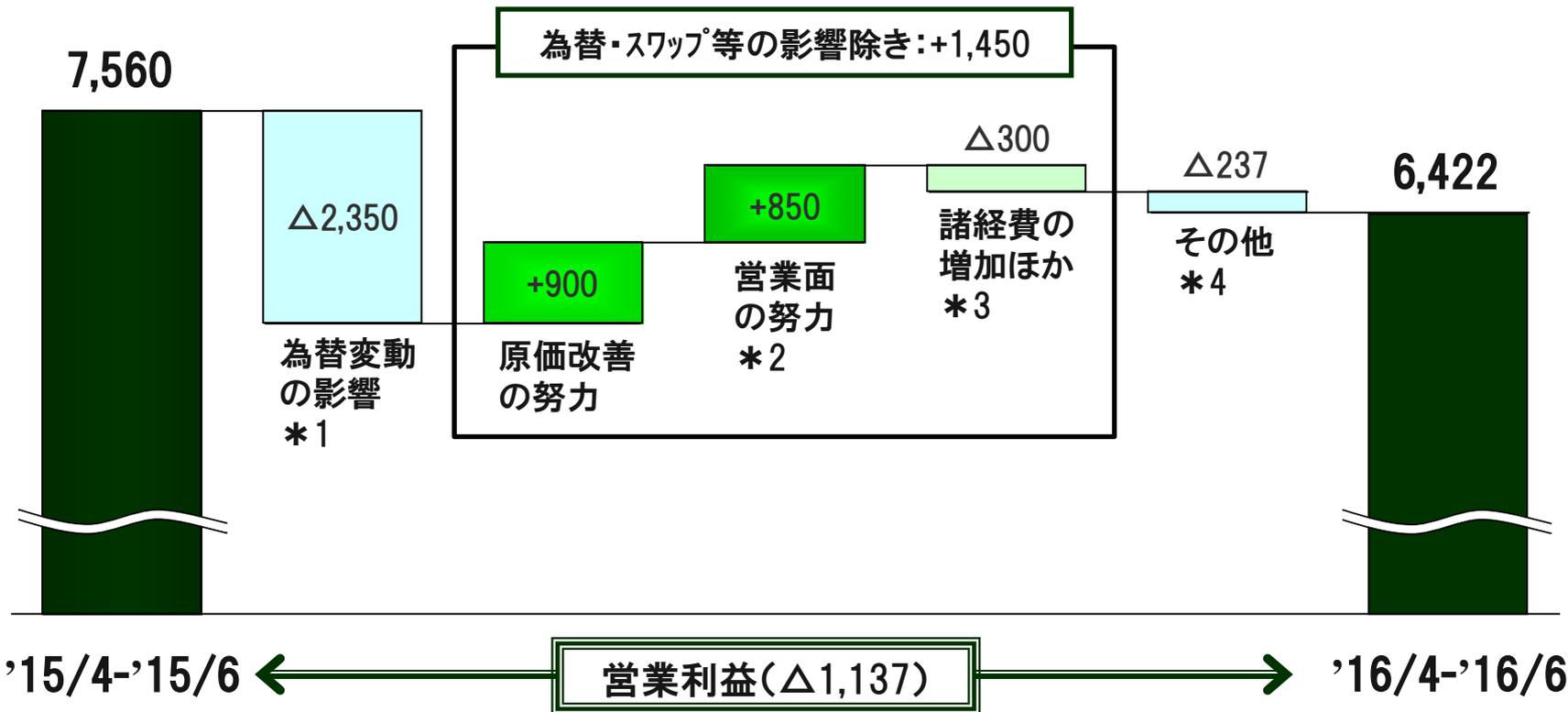
	前年同期 (’15/4-’15/6)	当第1四半期 (’16/4-’16/6)	増減	
売上高	69,876	65,891	△3,985	△5.7%
営業利益	7,560	6,422	△1,137	△15.0%
営業利益率	10.8%	9.7%	-	-
税金等調整前 当期純利益	8,452	6,770	△1,682	△19.9%
当期純利益 *1	6,463	5,524	△939	△14.5%
当期純利益率*1	9.3%	8.4%	-	-
一株当たり利益 *2 (希薄化後)	205.30円	179.11円	△26.19円	-
為替 レート	米ドル 121円	108円	△13円	-
	ユーロ 134円	122円	△12円	-

*1.当社株主に帰属する当期純利益

*2.当社普通株主に帰属する当期純利益

連結営業利益 増減要因

(単位:億円)



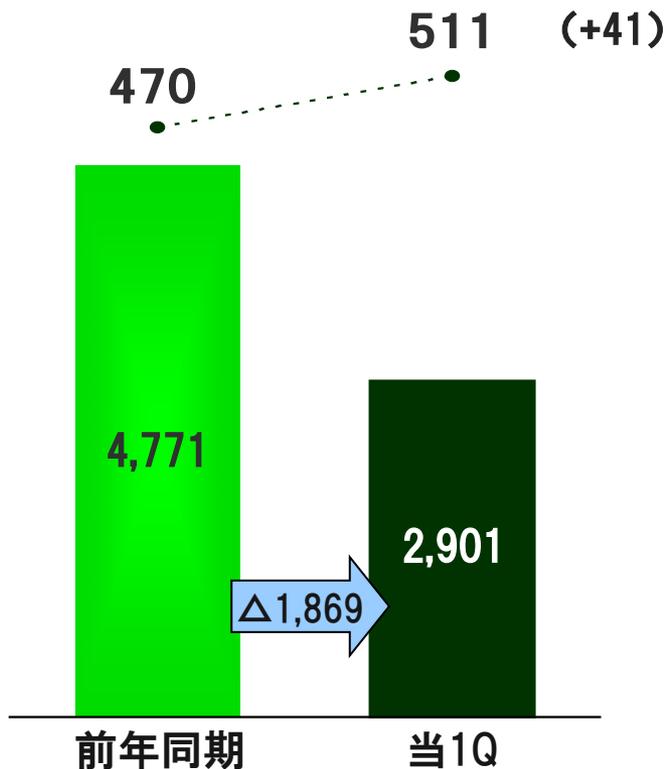
*1.通貨別内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
米ドル	△1,250	台数・構成	+700	労務費	△300	研究開発費	△100
ユーロ	△150	金融事業	△50	減価償却費および 設備関係費	△200	経費ほか	+300
その他通貨	△950	その他	+200			海外子会社の 営業利益換算差	△600
						スワップ評価損益ほか	+363

所在地別営業利益：日本

■ 営業利益(億円)*

-●- 連結販売台数(千台)

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く



営業利益率	前年同期	当1Q
	13.6%	8.6%

金利スワップなどの 評価損益を含む 営業利益(億円)	4,758	2,903
----------------------------------	-------	-------

◇ 営業利益*

2,901億円(前年同期比 Δ1,869億円)

・原価改善は進展も、為替変動の影響や、諸経費の増加により減益



ESTIMA

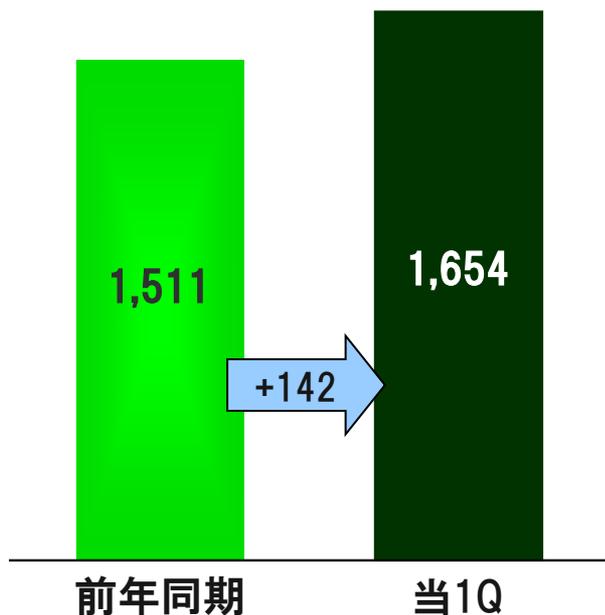
所在地別営業利益：北米

■ 営業利益(億円)*

-●- 連結販売台数(千台)

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く

729 715 (Δ14)



営業利益率	前年同期	当1Q
	5.3%	6.5%

金利スワップなどの評価損益を含む営業利益(億円)	前年同期	当1Q
	1,268	1,714

◇ 営業利益*

1,654億円(前年同期比 +142億円)

・原価改善の努力や諸経費の減少などにより増益



HIGHLANDER

所在地別営業利益：欧州

■ 営業利益(億円)*

-●- 連結販売台数(千台)

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く



◇ 営業利益*

85億円(前年同期比 △16億円)

・販売台数が増加したものの、
ポンド安・ルーブル安の影響など
により減益



営業利益率	1.6%	1.4%
-------	------	------

金利スワップなどの 評価損益を含む 営業利益(億円)	78	90
----------------------------------	----	----



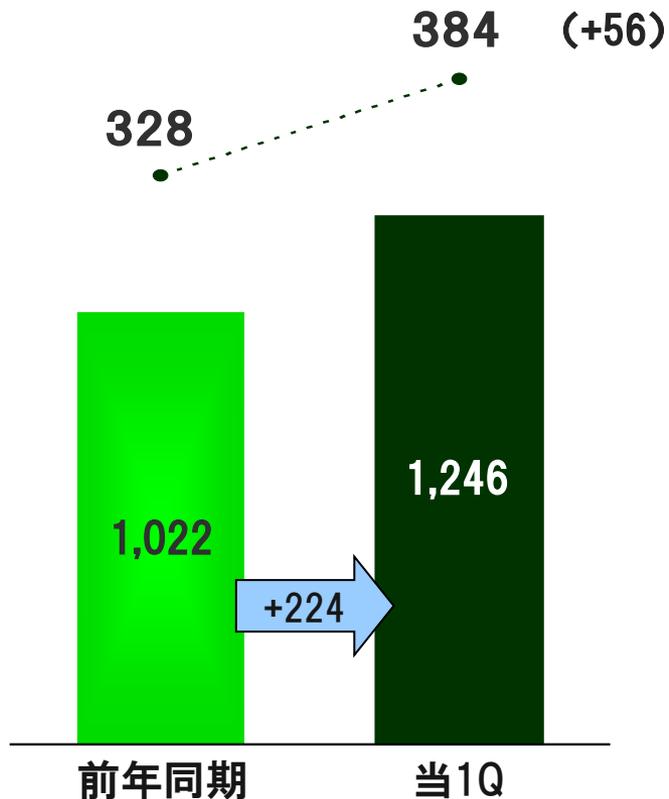
PRIUS

所在地別営業利益：アジア

■ 営業利益(億円)*

-●- 連結販売台数(千台)

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く



◇ 営業利益*

1,246億円(前年同期比 +224億円)

・諸経費の増加を、販売台数の増加、原価改善の努力が上回り増益



AVANZA

営業利益率

8.9%

10.5%

金利スワップなどの
評価損益を含む
営業利益(億円)

1,000

1,274

所在地別営業利益

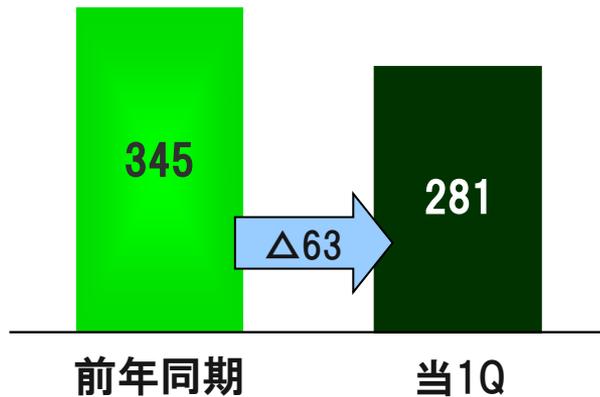
中南米・オセアニア TOYOTA
 アフリカ・中近東

- 営業利益(億円)*
- 連結販売台数(千台)
- * 金利スワップ取引などの評価損益を除く



◇ 営業利益*
 281億円(前年同期比 Δ63億円)

・現地通貨安による輸入採算の悪化や、諸経費の増加などにより減益



営業利益率	5.8%	5.4%
-------	------	------

金利スワップなどの評価損益を含む営業利益(億円)	380	273
--------------------------	-----	-----



金融セグメント営業利益

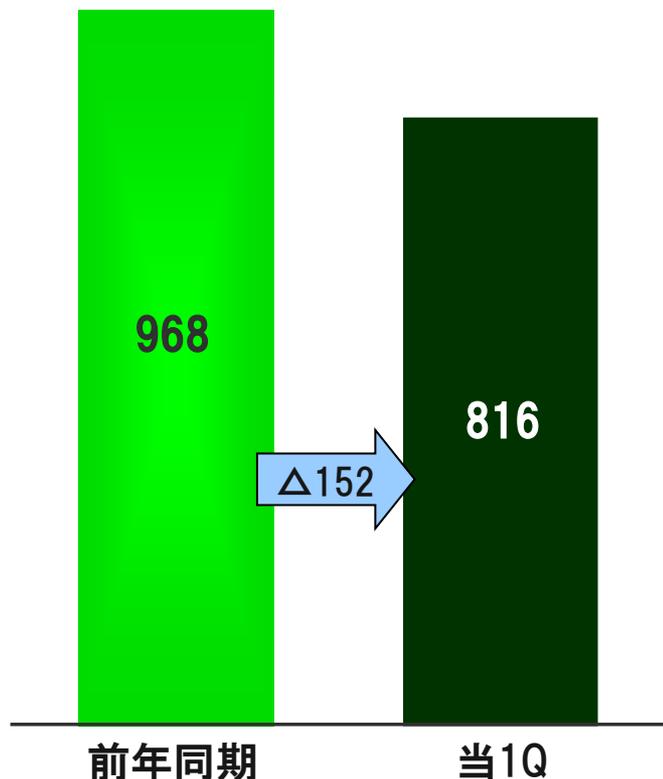
■ 営業利益(億円)*

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く

◇ 営業利益*

816億円(前年同期比 Δ 152億円)

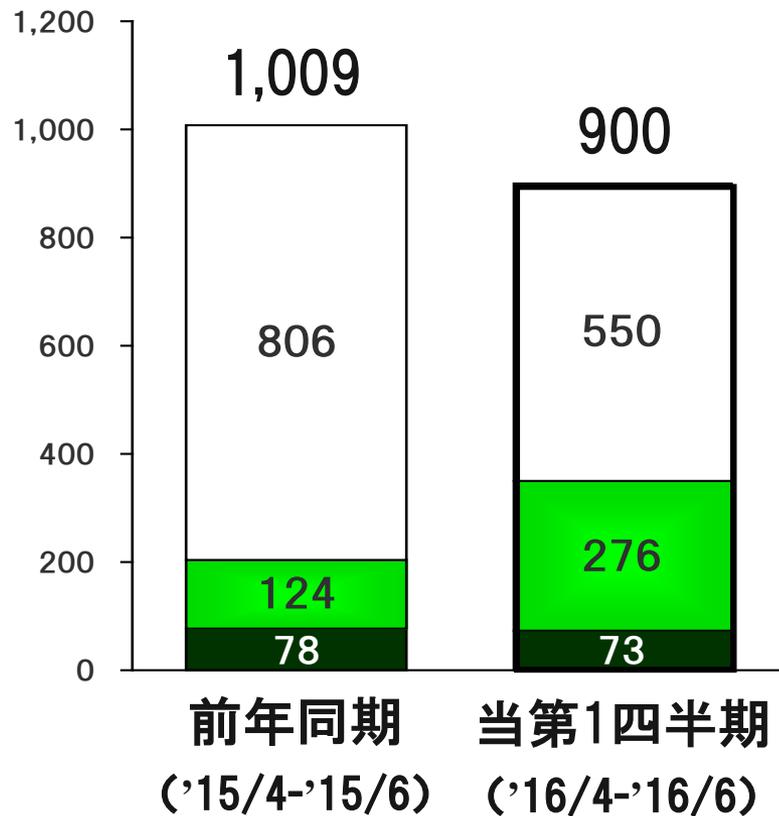
- ・融資残高が増加したものの、
残価コストの増加、為替換算の影響
により減益



	前年同期	当1Q	増減
営業利益	701	902	+200
金利スワップ取引 などの評価損益	Δ 266	86	+352
金利スワップ取引などの 評価損益を除く営業利益	968	816	Δ 152

持分法投資損益

(単位:億円)



(△109)

(△256)

(+152)

(△5)

増減



中国販売実績		
	'15/1-3	'16/1-3
小売台数 (千台)	228	291

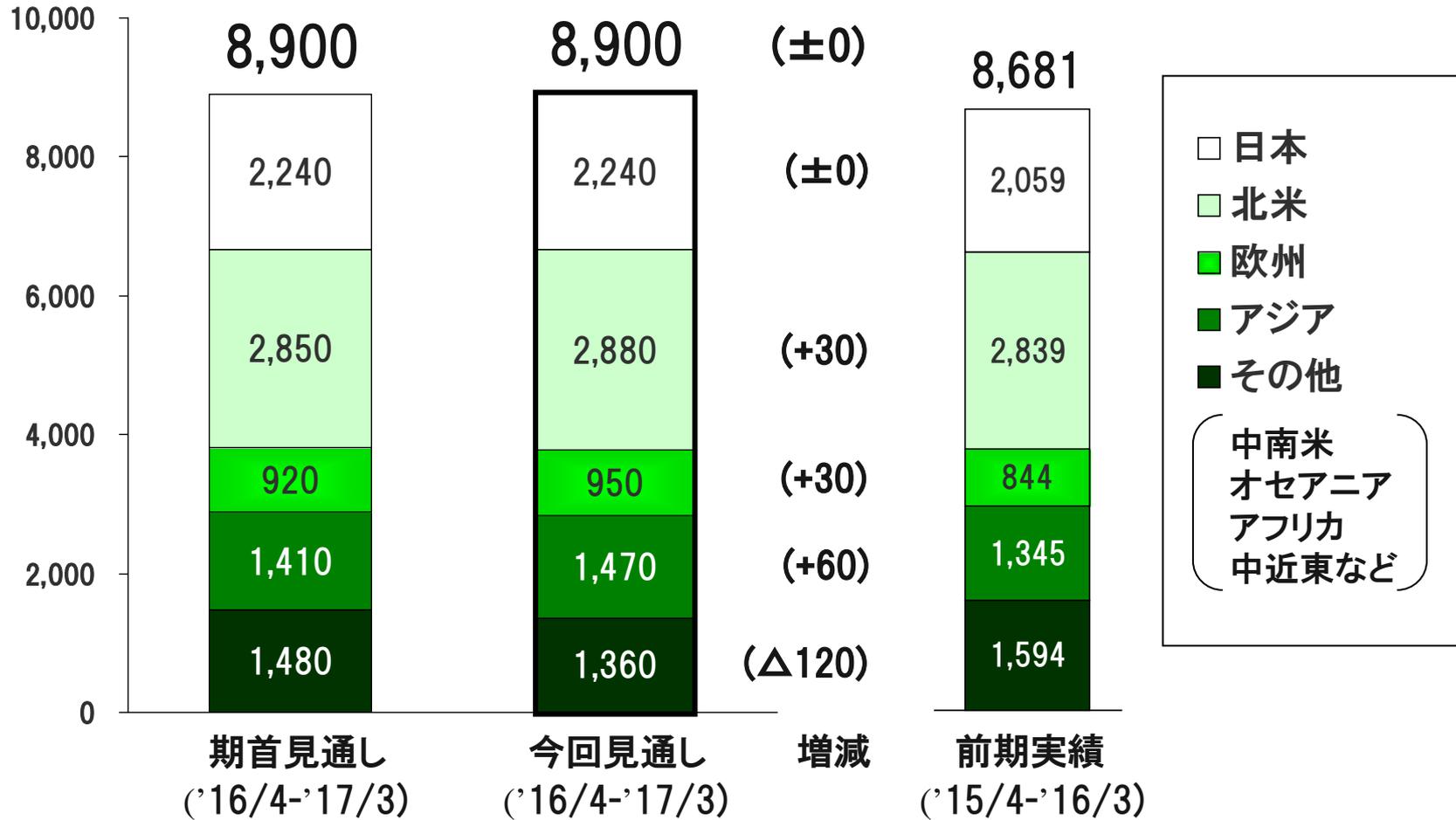
2017年3月期第1四半期 決算説明会

2017年3月期 第1四半期 実績

2017年3月期 見通し

(見通し) 連結販売台数

(単位:千台)



グループ 総販売台数(小売)	10,150	10,150	±0	10,094
-------------------	--------	--------	----	--------

(見通し) 連結決算要約

(単位:億円)

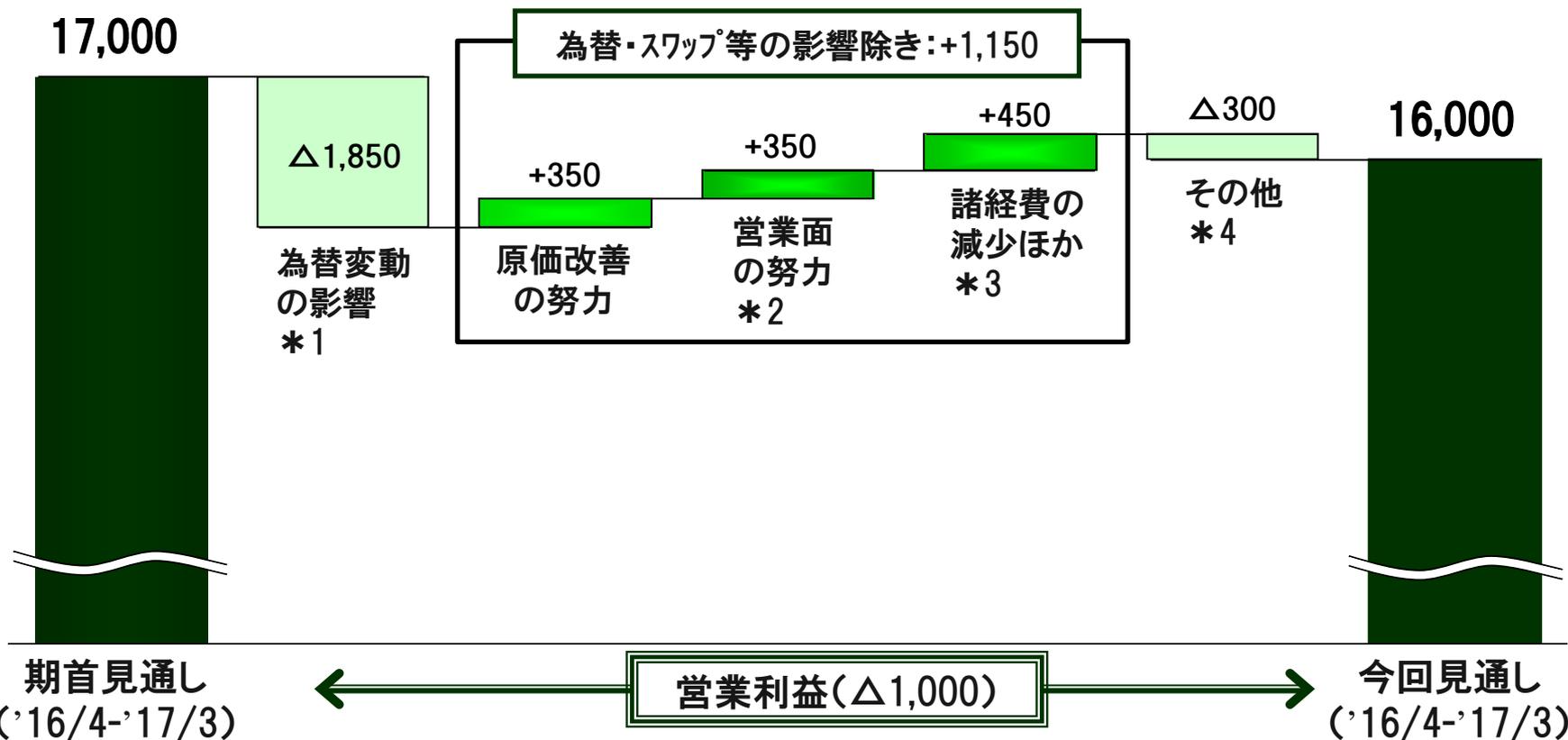
	期首 見通し (’16/4-’17/3)	今回 見通し (’16/4-’17/3)	増減	前期実績 (’15/4-’16/3)
売上高	265,000	260,000	△5,000	284,031
営業利益	17,000	16,000	△1,000	28,539
営業利益率	6.4%	6.2%	-	10.0%
税金等調整前 当期純利益	19,000	17,800	△1,200	29,833
持分法投資損益	2,900	2,900	±0	3,290
当期純利益*1	15,000	14,500	△500	23,126
当期純利益率*1	5.7%	5.6%	-	8.1%
為替 レート	米ドル 105円	102円*2	△3円	120円
	ユーロ 120円	113円*2	△7円	133円

*1. 当社株主に帰属する当期純利益

*2. 第1四半期実績：米ドル108円、ユーロ122円、’16年7月以降の前提為替レート：米ドル100円、ユーロ110円

(見通し)連結営業利益 増減要因(期首見通し差)

(単位:億円)



***1.通貨別内訳**

米ドル	△1,200
ユーロ	△300
その他通貨	△350

***2.内訳**

台数・構成	±0
金融事業	±0
その他	+350

***3.内訳**

研究開発費	+100	労務費	±0
減価償却費および設備関係費	+100	経費ほか	+250

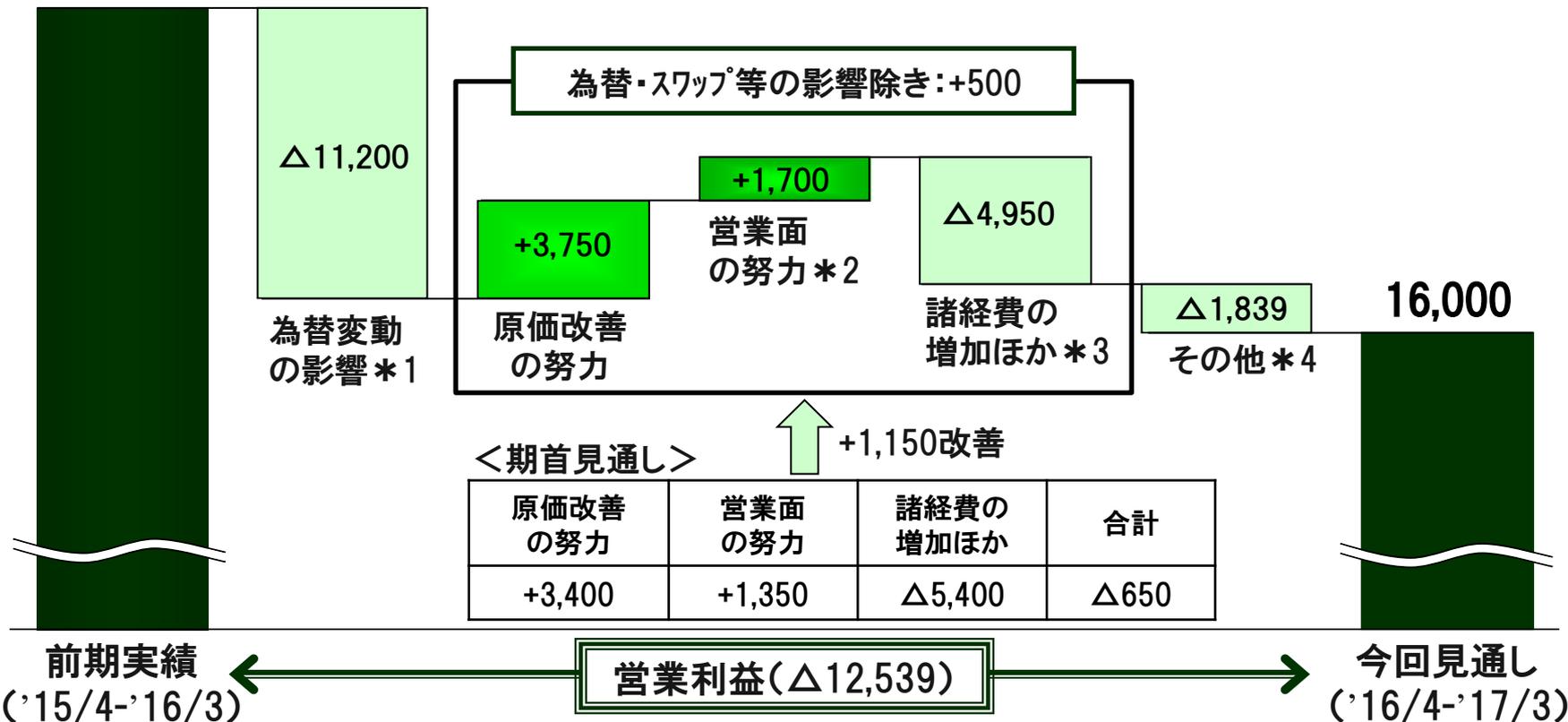
***4.内訳**

海外子会社の営業利益換算差	△400
スワップ評価損益ほか	+100

(見通し)連結営業利益 増減要因(前期差)

(単位:億円)

28,539



***1.通貨別内訳**

米ドル	Δ7,500
ユーロ	Δ800
その他通貨	Δ2,900

***2.内訳**

台数・構成	+1,650
金融事業	Δ200
その他	+250

***3.内訳**

労務費	Δ1,150
減価償却費および設備関係費	Δ900

***3.内訳**

研究開発費	Δ150
経費ほか	Δ2,750

***4.内訳**

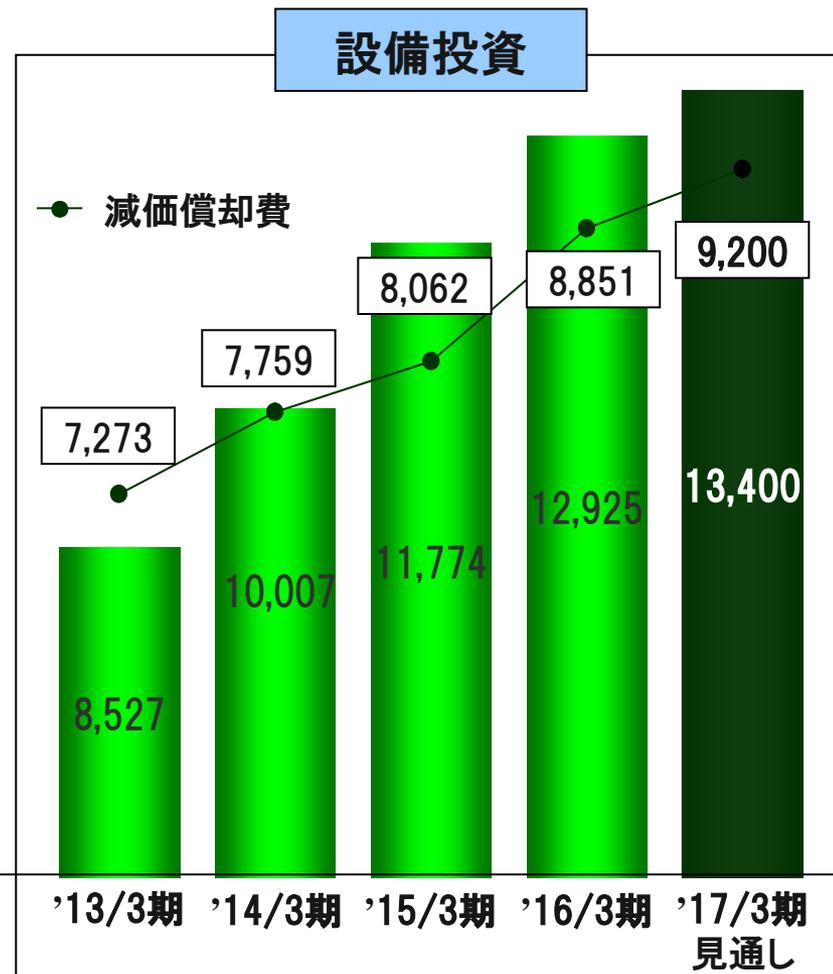
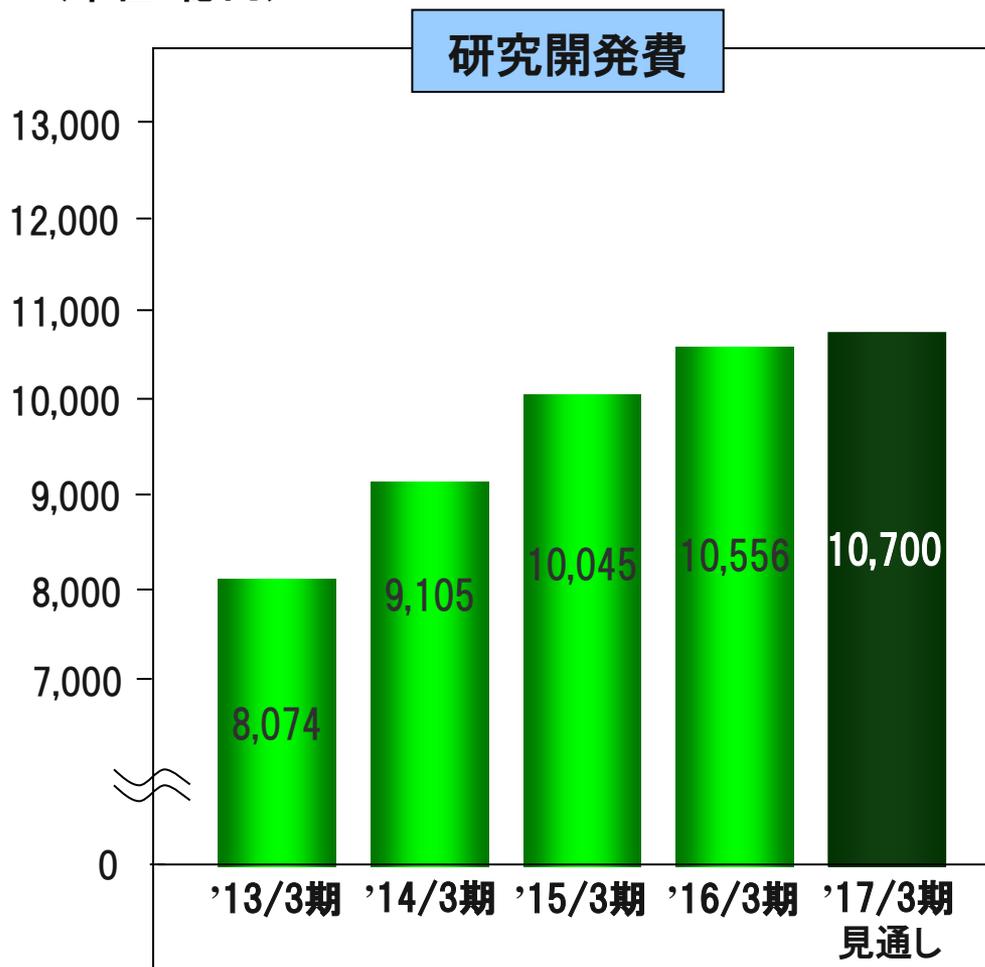
海外子会社の営業利益換算差	Δ1,700
スワップ評価損益ほか	Δ139

(見通し)

TOYOTA

研究開発費・設備投資・減価償却費

(単位:億円)



期首見通しからの増減:

研究開発費△100億円

設備投資△100億円

減価償却費△100億円

2017年3月期 第1四半期 決算説明会



86

トヨタ自動車株式会社
2016年8月4日

(ご参考) 台数見通し

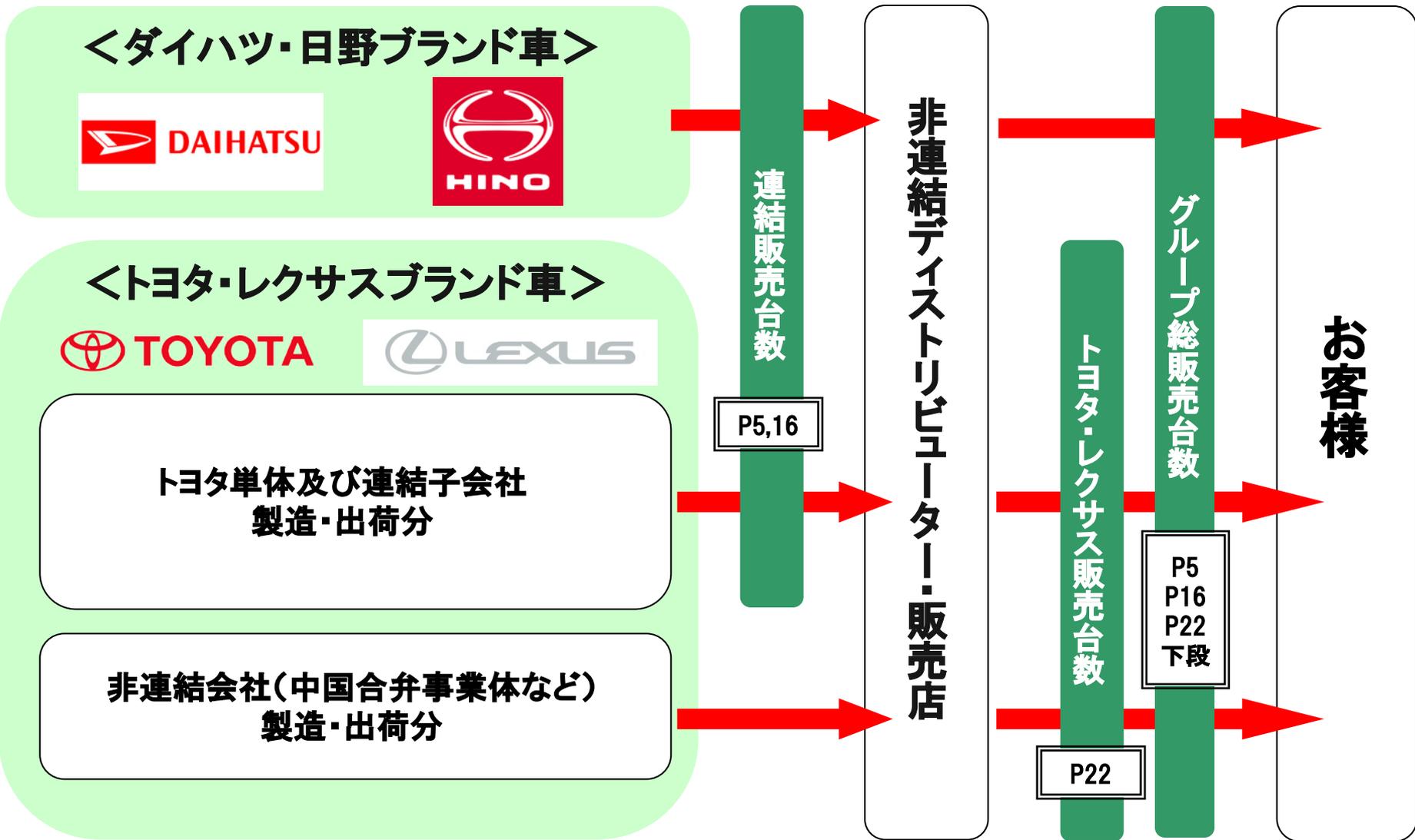
(単位:千台)

		期首 見通し (’16/4-’17/3)	今回 見通し (’16/4-’17/3)	増減
トヨタ・レクサス	生産 *1	国内	3,250	±0
		海外	5,800	±0
		合計	9,050	±0
	販売 (小売) *2	国内	1,600	±0
		海外	7,600	±0
		合計	9,200	±0
	輸出		1,800	±0
グループ総販売(小売)*2 … ダイハツ、日野ブランド含む		10,150	10,150	±0

*1. 非連結会社による生産台数を含む

*2. 非連結会社による販売台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り